

中学・高校生～

2021年6月 no.78

よんでネット*

2021

夏号

発行口茅ヶ崎市立図書館／協力口茅ヶ崎図書館子どもの本の会

「あたらしい図鑑」

長 菌 安 浩



ブブリン書房〔913ナ〕

中1の野球少年純は、背が低い。夏のある日、
捻挫して行った病院で、背の高い老詩人村田さん
と出会い、友達になった。「言葉にならないもやもやを、
スケッチブックに貼りつけたらいい」と老詩人は言う。

それは『あたらしい図鑑』だ。村田さんの図鑑に
は、ビー玉とか動物のヒゲが…。夏の終わり、純の図鑑
は？

「文字の読めないパイロット」

ディスレクシア
識字障害の僕がドローンと出合って飛び立つまで」

高 梨 智 樹

智樹くんは、中学生で「**ディスレクシア**（**識字障害**（知力や言語
の発達に遅れはないのに読み書きがうまくできない
特性）」と診断を受けます。「努力が足りないからだ」
と自分を責めていた智樹くんは、特性に合った学習
方法で苦手な部分を補い、ドローンパイロットとして
活躍するようになっていきます。



イースト・プレス
〔289-19〕



「橋の上の子どもたち」

パドマ・ヴェンカトラマン 作
田中兼津子 訳

インドで暮らす11歳の少女ヴィジは、父の暴力から逃れ、障害を持つ姉ラクと共に家を出た。橋の上で出会った少年たちに助けられ、毎日ゴミひろいの仕事をしていた。ところが、ある雨の日、姉ともうひとりの少年がひどい熱を出し、困ったヴィジは、教会で知り合ったおばさんに助けを求めた…。

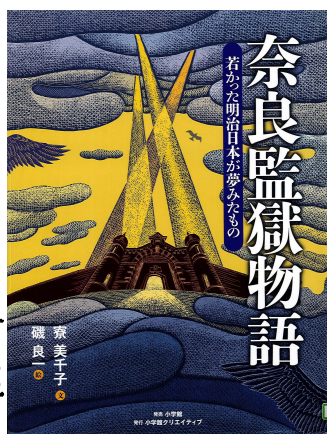
「ルーパートのいた夏」

ヒラリー・マッカイ 作
星 永 訳

二十世紀のはじめの英国。生後3日で母を亡くした女の子クラリーは、父と兄と淋しく暮らしていた。でも夏になると、祖父母の家で過ごす。そこには、青い海、小鳥、緑の大地。そして大好きないとこのルーパートがいた。成長するにつれ、彼女はルーパートに淡い思いを抱くが、彼は戦争へ…。



徳間書店 (9333)



「奈良監獄物語」

若かった明治日本が夢見たもの

寮 美千子 文
磯 良一 絵

奈良の町を見下ろす丘に、美しい赤煉瓦の建物がある。明治時代、「奈良監獄」として建てられた刑務所だ。以降、罪を償う人々を見守り、戦後は少年刑務所として、若い受刑者が人生を再出発するための希望の場であり続けた。2017年に閉鎖されるまでの、109年間の物語。

「深海散歩」

極限世界のへんてこ生きもの」 監修 藤倉克則

赤くて目の大きな金目鯛。実は「深海魚」だって知っている？ 赤い光は真っ先に吸収されるから、深海では目立たないんだ。他にも光で身を守るエビや、透明な魚など「深海」には想像を超えた生き物の世界が広がっている。夏の暑さを忘れて、君も深海散歩に繰り出そう！

幻冬舎 [48(ガ)]

